



5月11日 ソフトバンク加治屋投手からマスク8,000枚贈呈



加治屋博樹さんから目録の贈呈を受けた市長

福岡ソフトバンクホークスの投手であり、くしまPR大使でもある加治屋蓮さんより本市へマスク8,000枚の贈呈があり、贈呈式が行われました。贈呈式には加治屋さんの父、博樹さんが代理出席され、市長へ目録を手渡しました。また、加治屋さんのビデオメッセージも披露され、福岡市内の球場などで開幕に向けてトレーニングに取り組んでいることや、市民の皆さんへ「一日でも早い終息を願い皆さんと一緒に頑張っていきましょう」と激励の言葉などを話されました。今回贈呈された使い捨てマスクは、現在マスク不足が心配されている市内の医療機関や福祉施設などに優先的に配布される予定となっており、串間市内での新型コロナウイルス感染症対策として活用されます。

5月11日 感染症予防に役立ててマスク10,000枚贈呈

本市出身で現在、宮崎市在住の武田陸奥雄さんと友人である石川弘行さんより、新型コロナウイルス感染症予防に活用してもらえればとマスク10,000枚の贈呈がありました。武田さんが串間市内の医療機関でマスクがひっ迫している状況を聞き、役に立ちたいと思い石川さんとともに贈呈。マスクは今後、市内の医療機関や福祉施設などに優先的に配布する予定となっています。



使い捨てマスクの贈呈を受けた市長



バラの手入れをされる野辺さん

5月13日 秋山のバラ園見頃を迎える

秋山小学校近くの市道沿いにある野辺保雄さんが整備したバラ園のバラが見頃を迎えました。園内は約1万本のさまざまな種類のバラが咲き誇り、新緑の山沿いに明るく彩を見せていました。また、展望台やイス、机などの休憩スペースのほか、水車やニシキゴイが泳ぐ池も設置されています。野辺さんは、「今年はコロナの影響で来れなかった方も多く、来年はたくさんの方に来ていただきたい」と話していました。

4月21日 市民や事業者を支援へ対策室設置

新型コロナウイルス感染症によって経済的影響を受けている市民や市内各事業者を支援するため、市役所総合政策課内に「新型コロナウイルス感染症生活支援・経済対策室」を設置しました。市が独自に行う支援策の企画や経済的影響などの分析・情報収集、調整などを行い、今後迅速かつ効果的に生活支援・経済対策に取り組んでいきます。



室長の橋倉篤寿
総合政策課長(左)と市長(右)



感謝状の贈呈を受けた森さん

4月24日 地方自治の進展に貢献した自治会長へ感謝状贈呈

串間市内の自治会長職を8年以上務め、地方自治の進展、公共の福祉へ貢献した個人へ、表彰を行っています。今年度は鹿谷地区の内田敏典さん、射馬地野地区の河野昭光さん、夫婦浦地区の古田栄光さん、東本西方地区の森克秀さん計4名の方が表彰され、市長応接室で市長より感謝状の贈呈が行われました。(森さんのみ出席)

4月28日 新型コロナウイルス感染症対策へ市民が寄付金贈呈

本市在住の森恵二さんより新型コロナウイルス感染症対策に役立ててほしいと100万円の寄付がありました。同日、贈呈式が行われ、「世の中が大変なことになった。何かに役立ててもらえれば」と市長へ寄付金を手渡しました。寄付金は今後、串間市内での新型コロナウイルス感染症予防のため、備蓄量が少なくなりつつあるアルコール消毒液の購入などに活用される予定となっています。



森恵二さん(中央左)から寄付金の贈呈を受けた市長